令和元年度おおさか農政アクションプラン評価･点検部会　議事概要

資料１

日　　時 令和元年８月１日（木）１０：００～１２：００

場　　所 大阪赤十字会館４０２会議室

出席委員 増田委員、藤田委員、和田委員

内　容

１　事務局説明

* おおさか農政アクションプランのKPIの見直しについて
* 平成30年度アクションプランの進捗状況について
* 平成30年度に発生した自然災害（地震・豪雨・台風）について

２　委員の主な意見

* おおさか農政アクションプランのKPIの見直しについて

○　KPIとなる販売額だけでなく、その要因となる栽培面積や農業者の増減等を把握するべきである。

○　農空間づくり協議会内での議論に、農政室がどのように関わるのか。また、農業者以外の外部の視点（例：学生）が必要。

* 平成30年度アクションプランの進捗状況について

○　府民協働の担い手が、団塊世代のボランティアから大学生・園芸高校等の

ボランティアや企業の新規参入部署・CSRへと変わっている。施策もその動きに合わせて対応する必要がある。

○　イベント情報の発信数だけでなく直売所のイベント参加者数を情報発信の指標とできないか。

○　農山村地域では、地域外からの新規参入者には技術指導のほか、住まい・

コミュニティー参入への支援が必要となる。大阪においても、技術以外の

支援も検討すべき。

○　インバウンド向けに、観光を推進する組織・団体と直売所との連携が必要ではないか。

○　多くの人がアクセスできる駅は重要なPR場所。6次産業化で開発した加工品を駅マルシェでPRすることで、生産現場に来てもらうなどのグリーンツーリズムにつながっていく。